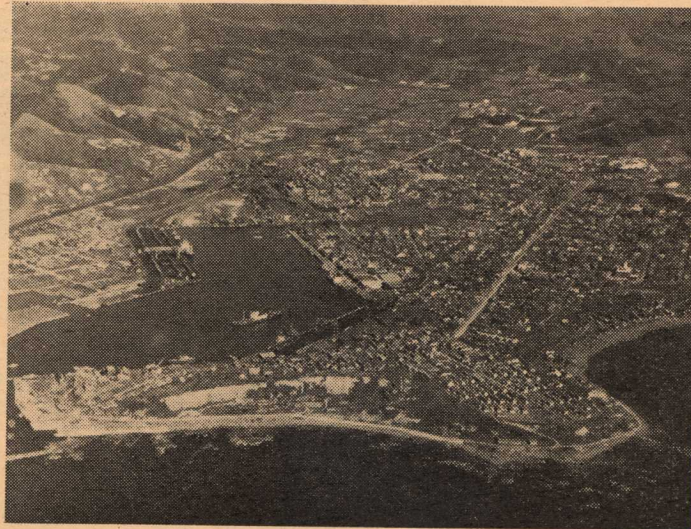


市勢振興計画をも とに後進性を打破



市勢振興八カ年計画が作られそうだが、その目的はなにか。

今後留萌市はどのように振興するかという長期の基本目標を定め、これにあわせて計画的な行政を進めて行こうというものである。今度の計画は、一応基本的な考え方をまとめ、どのように実行してゆくかは今後に残されている。

その基本目標とするところは、留萌港を軸とした中核産業都市建設を最終目標として生産の飛躍的な増強をはかり、あわせて市民所得の向上と市民生活の安定をしようということにあります。

特に留萌地区（留萌市、増毛町、小平村）としては一昨年産炭法の指定を受けたが、さらに昨年は低工



法の指定も受けるに至りましたので、この計画を柱とし、国、道の施策と密接な連繋をとり、港湾整備を基準として、運輸通信などの充実に、産業基盤を一層強固にし、工業の振興

なかんずく臨海工業の造成と商業構造改善をはかり当地域の後進性を打破しようとするものであります。今後は、広域共栄圏の民意と経済の結果をはかり、地域全般にわたる総合土地利用、産業及び資源の開発を促進し、自主的経済発展の諸条件の培養とあわせて

都市構造のレベルアップをしたいと思えます。

窓口事務の総合と賦課徴収事務の一元化

最後に、就任いろいろ公約していた事務能率はどうなつたか。

民主政治は、住民の声が常に政治に反映されるものであり、よい市政とは、市民の信頼を受ける市政でなければならぬと、私は常に考えています。その意味からも、市の行政機構は、市民みんなが

身近かに、便利に利用できる態勢でなければなりません。

そこで、窓口事務の一本化と事務の迅速処理を検討していましたが、ことしの四月から実施しました。窓口事務の一本化は、市民のみならず、とくに多く利用される窓口を、一階市民課にまとめ、台帳の一本化による事務処理の迅速をはかることにその目的があるのです。

また、全道でも例の少ない、賦課徴収事務の一元化も行いました。これによつて財政運用の円滑化ははかれるものと思えます。

なお、職員の研修による事務能率の向上と、行政効力の合理化をはかり、市民サービスの上につとめたいと考えております。

特集 ことしの予算と事業

発行 昭和三十九年五月十五日

留萌市役所総務課

編集後記

この広報紙は、ことしの施政方針をもとに、ことしの市政がどのように進められるかという点をダイジェストに編集しました。

わかりやすくするため、問答風にし、その内容も、

おもなものだけをとりあげました。

この中から、ことしの市政の進め方を、アウトラインだけでもご理解いただけたと思います。

とかく、市政はわかりずらい、というご意見も耳に

しますが、わたくしたちは一人でも多くの市民が、市政を知っていただけるよう努力しています。

お気づきの点がありましたら、今後に役立てたいと思いますので、お知らせください。